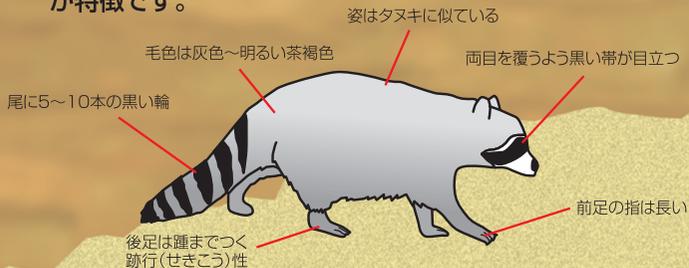


どんな動物?

頭胴長(鼻の先からおしりまで)40cm~60cm、体重6~10kgの中型哺乳類です。目の周りのはっきりとした黒いマスク模様と長いしま模様のしっぽがあるのが特徴です。



アライグマ



アライグマがいるとどうなるの?

- 1 在来動植物の生息・生育環境に与える影響が大きく、生態系のバランスが崩れます。
- 2 住宅の屋根裏や空き家などの建物に住み着き、生活環境に悪影響を与えます。
- 3 人の生活に近い場所で暮らすことが珍しくありません。近づくと噛みつかれたり引っ掻かれたりするなどの身に危険が及ぶ恐れがあります。

アライグマと間違えやすい動物

大きな違いは、アライグマだけにある、しま模様の長いしっぽです。



ハクビシン

鼻から頭にかけて白いたて線があるのが特徴
頭胴長:47~54cm
体重:約4kg



アナグマ

目の辺りから頭にかけて黒い色をしている。
頭胴長:50~70cm
体重:約4~12kg



タヌキ

アライグマほど目のまわりの黒いマスクがはっきりしていない。
頭胴長:50~60cm
体重:約3~5kg

どこにいるの?

北アメリカが原産地ですが、ペットとして輸入されたものが逃げたり放されたりして野生化し、全国で分布を拡大しています。

埼玉県では、県内全域で生息しており、さまざまな被害をもたらす問題となっています。

どんなものを食べるの?

雑食性で、植物の果実、種、昆虫、ザリガニ、カエルなどの小動物、鳥やカメの卵、魚などのほか、トウモロコシ、ナシ、スイカなど農作物も食べます。ドーナツや甘い菓子などを好み、生ゴミも食べます。



スイカの被害



ナシの被害

対策をしよう!

- 1 増やさない対策
アライグマは様々なものをエサとします。放置された農作物、収穫しない果実、生ごみなどもエサになります。これらのものを放置しないことが大切です。
- 2 侵入させない対策
アライグマは、人の気配の少ない家屋や物置、神社仏閣などの隙間から侵入し、屋根裏などに住み着くことが多くあります。心当たりのある場所は点検を行い、隙間をふさぐことなどが侵入を防止する対策になります。

もしも

アライグマを見つけたら……

むやみに手を出すことは大変危険です。見つけたら、**地元の市町村または県環境管理事務所**へ連絡してください。

